



段階	目指す児童・生徒の姿	教師の手立て	留意事項（授業改善の視点）
つかせ	課題との出会い <ul style="list-style-type: none"> 課題を理解しようとする。 課題解決への意欲をもっている。 	課題の提示 <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を喚起する課題の提示の仕方を工夫する。 考える必要感のある課題を設定する。 	視点① 明確なねらいと、学習の見通し 視点② 考えたい課題の設定と提示 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態を把握するとともに、教材研究を深める。 単元全体の学習の流れから本時の位置づけを明確にする。 ねらいを明確にし、課題を板書するなどして、明示する。 全員が課題を把握したか確認する。 深め合う場で、根拠をもって説明できるよう、意識させる。
	見通しをもつ <ul style="list-style-type: none"> 課題解決の見通しをもっている。（前時の学習、既習の想起） <p>方法の見通し 結果の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の思考を促す発問を吟味する。 既習事項等を想起させる。 	
考える	課題の解決 <ul style="list-style-type: none"> 生活体験をもとに考える。 既習事項をもとに考える。 文、絵や図、表に書いて考える。 自分の考えの根拠を明確にする。 多様な解決方法を考える。 説明等、発言の練習をする。 	個々の考えの把握と支援 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 机間指導を通して… <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の考えの把握 つまずきの把握 個に応じた指導・支援（助言・ワークシート等） 深め合う内容の焦点化 </div>	視点③ 思考する場の設定 <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の考えを大切にし、考えの取り上げ方を検討する。 個の状況に応じ、考えを引き出す支援を適切に行う。 発言への意欲をもたせる。 考えをまとめて表現させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 全体的に解決がはかどらない… ペアやグループで 既習事項へ </div>
深める	考えの交流 <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを根拠を明確にして説明する。 自分の考えと比べて友達のを聞く。 気づきや考えの変容を伝え合う。 	課題解決に向けた評価・指導・支援 <ul style="list-style-type: none"> キー・ワードや重要な視点を確認する。 子どもの発言の関連づけや価値づけをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 子どもの主体的な学びを引き出す関わりを！ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 子どもをつなぐ教師の意識（つなぐ・広げる・深める） <ul style="list-style-type: none"> ☆ 話している子と聴いている子をつなぐ。 ☆ 分かってる子と分かっていない子をつなぐ。 ☆ 多様な考えに気付かせる。 ☆ ゆさぶりをかけたり、論点を明確にしたりして深める。 ☆ 子ども自身が交流前の自分の考えと高まった自分の考えをつなぐ。 気づき 変容 納得 深まり </div>	視点④ 思考を深める場の設定 <ul style="list-style-type: none"> ねらいを意識し、達成に向けた指導・助言をする。 一問一答や単語で答える発問にしない。 説明の仕方、聞き方を具体的に指導し、よい姿を意識的に褒めるなどして、定着させる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学習の定着を図る </div>	<ul style="list-style-type: none"> 交流の意味を確認し、深まりや高まりを意識させる板書を工夫する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 教師による評価と 個に応じた指導・支援 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 構造的な板書に心がけ、学習の成果が見えるように整理する。 教えるべきことは、しっかり教える。
振り返る	学びの自覚・振り返り <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習で分かったことをまとめる。 考えを交流して、友達から学んだことを振り返る。 次時への意欲をもつ。 	ねらい達成に向けたまとめ <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の自己評価・相互評価を工夫する。 本時のねらいについて、学習をまとめる。 次時への見通しをもたせる。 	視点⑤ ねらい達成の把握と価値づけ <ul style="list-style-type: none"> 条件を与えるなど、焦点化して学習をまとめさせる。（キー・ワード、字数など） 明確な視点で振り返らせる。 本時のねらいに対する児童生徒の満足感、達成感を把握する。